

平成27年度の主な事業報告

社会福祉法人 ルンビニ園

社会福祉事業

児童養護施設の運営

「児童養護施設運営指針」及び「全国児童養護施設協議会倫理綱領」をもとに、子どもたちが健康で充実した人生を送るため、優しさと意欲を身につけ、健全でたくましい社会人となることを養育の基本として、次の事業を実施した。

1 児童の支援について

- (1) 児童相談所及び教育関係機関との連携を密にし、定期的な連絡会議等を通し、子どもたちへの育成指導に努めた。また、ハッピーウーマンプロジェクト(性教育講義)等を通し、中・高校生への健全な性知識の醸成に努めた。さらに、健康の維持向上に努めるとともに、インフルエンザなど、感染症の発生に迅速に対応し、その拡大防止に努めた。
- (2) 目標ある充実した生活を送るための、よりよいコミュニケーションづくりに努めた。
- (3) 施設外活動や各種行事を通し、社会的モラルの向上に努めた。
- (4) 年齢及び個々の能力に応じた指導を通し、社会性や学習意欲等の向上に努めた。また、心理士による心理療法を取り入れ、成長・発達の支援に努めた。
- (5) 平成27年度は、措置解除による退所者が13名、入所者8名で月別の利用者数は平均で60.9名となった。なお、昨年度と比較して2.1人の減少が見られた。

2 生活環境の整備・保全について

快適な施設を維持するため、旧女子棟を解体撤去するとともに施設内の不良個所については速やかな補修・修理に努めた。また、花壇の整備や周辺環境の美化にも努めるなど、生活環境の向上に努めた。

3 ボランティアの受け入れについて

社会との連携を図っていくため、各種ボランティア(富山市医師会による歯科検診や大山町・大沢野町赤十字奉仕団による除草活動等)の積極的受入れに努めた。

4 職員の資質向上について

職場研修や各種研修等への積極的な参加により、職員の資質向上を図るとともに、入所児童への支援技術の向上に努めた。特に、職員による児童への体罰や虐待防止のための研修を受講し、子どもへの指導のあり方と職員自身の自己コントロールの必要性を学んだ。

5 非常災害等対策について

入所児童の安全と施設の保全を図るため、各種の避難訓練等を実施したほか、緊急放送機器や消火栓等の点検を行うなど、非常災害時等の対策に万全を期すよう努めた。また、救命処置のためのAED講習を行った。

6 第三者評価(自己評価)について

児童への処遇向上のため全職員が自己評価を実施し、次回の第三者評価に向けての改善点等の発掘を図った。

7 実習生の受け入れについて

富山・石川等の大学・短期大学・専門学校等からの実習生を受け入れた。また、実習生への指導に携わることにより、職員の専門性の向上に努めた。

8 各種行事の実施について

「花祭り」や「納涼祭」、「キャンプ」、「忘年会」など、各種の行事(ボランティアを含む)を実施した。

公益事業

該当なし

収益事業

該当なし